

日韓大学生オンライン交流～みんなおいでよ～（オンライン）の記録 （対象国：韓国）

1. オンライン交流概要

【目的】日本と韓国の大学生及び大学院生が、両国の生活の様子及び文化の比較や両国国民の互いへの認識についての講義聴講、オンライン視察、討論等を行い、日韓の生活や文化・社会に対する理解を深め、学習内容等を対外発信することにより、日韓の相互理解を促進することを主目的とする。

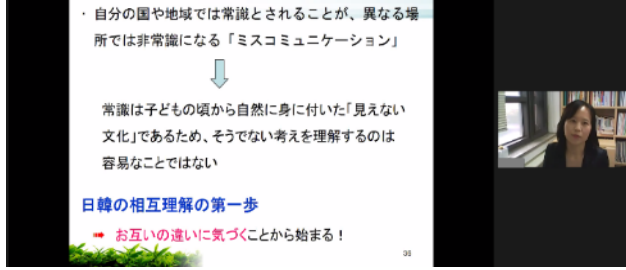
【参加者】大学生 78 名（韓国 44 名、日本 34 名）

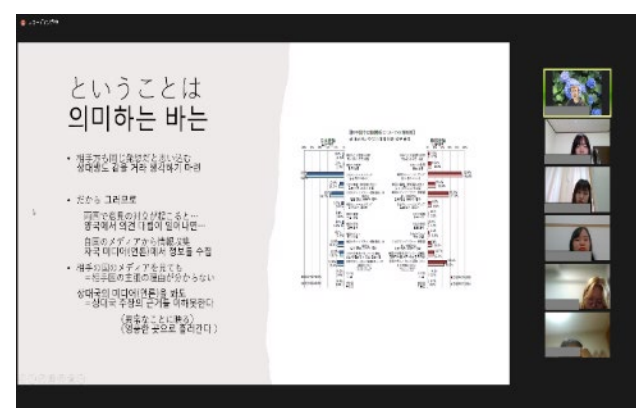
【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応 （参加者の人数実績）
1 回目 5 月 22 日	【オリエンテーション】 【少人数グループ別交流】 「（テーマ①）自分の出身地や居住地の魅力紹介」 「（テーマ②）コロナで変わった私たちの生活」	各自が事前に準備した資料を用いて出身地や居住地についての魅力・日常生活についての紹介を行った。他のメンバーたちはそれぞれの地域に大きな関心を示し、各地域の観光地や特産品について質問するなど、活発な意見交換が行われ、相互理解を深めた。 （参加者：78 名）
2 回目 5 月 29 日 大韓民国 ソウル市	【テーマ関連講義・意見交換】 「（テーマ）両国の生活の様子と文化の比較」 講義「日韓言語行動の理解」 講師：徳成女子大学校 ノ・ジュヒョン教授 【テーマ関連視察】 景福宮・ソウル市内の伝統的な街並み（益善洞・仁寺洞）、徳成女子大学校キャンパス 【テーマ関連講義・意見交換】 講義「日韓都市景観の比較」 講師：徳成女子大学校 イ・ギルフン教授	韓国側主催による講義であったが、日韓両言語による学生参加型で実施され、学生たちはオフラインの講義さながらの緊張感をもって聴講していた。 今回の講義を通じて相手国についてだけでなく、自国についても、より理解を深めることができたという意見が聞かれた。 （参加者：78 名）

3 回目 6 月 26 日 埼玉県 日高市	【テーマ関連視察】 高麗神社（由緒、境内紹介、参拝方法解説） 【テーマ関連講義、質疑応答】 「(テーマ) 日韓お互いどう見ているか～両国の視点の共有」 講義「日韓：その似ていて、大きく異なる存在 - 互いを知るための第一歩 -」 講師：東京都立日比谷高等学校 武井一講師	高麗神社視察では、古代から現代までの日韓交流について振り返ることもでき、日韓の学生ともに興味深く視察していた。 また、講義では地形や神話の成り立ち等から日韓の思考の差、更には日韓基本条約についての両国での受け止め方までを考察し、学生からは「日韓で似ているがゆえに意識されない相違点について理解が深まった」「今後、相手国と交流する際には参考にしたい」などの意見が聞かれた。 講義後の質疑応答の時間には、韓国人学生から講義内容に関連した日本史についての質問、最近の日韓関係に関する質問が出るなど、積極的な様子が見られた。 (参加者：78 名)
4 回目 7 月 3 日	【成果発表会】 グループ別に PPT や動画を作成し、発表	第1回～3回のプログラムで学んだ内容及び個別交流の成果について、グループ毎に発表を行った。発表は日韓両言語で行われ、日韓の相互理解のための提言や両国の文化・言語比較など、プログラムを通じた成果が表れた発表が多く見られた。 (参加者：78 名)

3. 記録写真

	
2021 年 5 月 22 日【グループ別交流】 14 グループに分かれて交流	2021 年 5 月 29 日【テーマ関連講義・意見交換】「日韓言語行動の理解」

 徳成女子大学は2020年度に100周年になった	
2021 年 5 月 29 日【テーマ関連視察】 徳成女子大学鐘路キャンパス（ソウル特別市）	2021 年 6 月 26 日【テーマ関連視察】 高麗神社（埼玉県日高市）
	
2021 年 6 月 26 日【テーマ関連講義・意見交換】「日韓：その似ていて、大きく異なる存在 -互いを知るための第一歩-」	2021 年 7 月 3 日【交流】 グループ別成果発表

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 学生

普段から日本語を学習し、特に日本のアニメーションに関心があったため、ある程度は日本文化について理解していると思っていたが、講義等を通して、自分の理解とは違う部分もあることを学んだ。また韓国内にも多様な文化があることを改めて知ることができる、とても良い機会となった。

◆ 韓国 学生

初めてのオンライン交流であったため最初は緊張したが、とても有意義で、毎回参加することが楽しい交流となった。特に、講義で同じ漢字語であるが日韓で異なる意味を持つ言葉を学び、今後、日本の方に会った際に失礼がないように、より詳しく勉強したいと思った。

◆ 日本 学生

主観的な動機で「日韓関係を良くしたい」ということも大事ではあるが、大学生であればより客観的に両国を見て、相違点を調べて結論を出すということも必要であると思っていたので、今回の

講義は非常に有益であった。また、講義だけでなく韓国の学生とグループになって協働したり話し合ったりしたことで、より深い友情を築けた。

◆ 日本 学生

韓国の学生と初めて交流した。「似ているようで違う」という言葉が私にとって、今回のキーワードであった気がする。自分の常識内では良かれと思ってしたことが、韓国の方にとっては必ずしもそうは受け取られないこともあるのだと知り、交流が深まるにつれ、楽しさを覚えると同時にコミュニケーションの難しさも感じた。しかし、相手を知ることが何より大切だということを実感することができるいい機会であったと思う。

◆ 日本 学生

今まで考えたことがなかった視点から、日韓比較についての講義を聞いて、自分の国での考え方や生活は当たり前ではないと改めて思った。だからこそ、まず相手を知ることが大事であると気付くことができた。色々な情報が溢れているが、そればかりにとらわれず、実際に人に会ったり、現地に足を運んでみたりするなどして、いろんな角度から韓国を知っていききたい。また、私は日韓の歴史についてもっと勉強しなければならないと思う。両国の目線に立って、歴史を学び、日本の人たちにもっと韓国を伝えていきたい。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ オンライン視察先関係者（高麗神社）

コロナ禍にあって、あらゆる人の流れが止まり、当然のように国際交流も停止されている今、改めて、草の根の国際交流の意義を考えさせられた。また、これまでの経験から、伝えることの難しさ、奥深さを実感している。国際交流とは、お互い伝え合うことに妙味があるし、伝わることに達成を感じると思う。しかし、それは不断の努力によるしかなく、こうした渦中にありながらも弛むことなく様々な手段を模索しながら交流をしようとする人々の輪に加えていただいたことを名誉に思う。高麗神社は、日本国内の事象の一つにすぎないが、その事象の意義は、受け止め方によって広まりもし、深まりもする。若い皆さんには素直に受け止めつつ、多角的に捉えていただければ幸いだ。

◆ 韓国側主催機関関係者（韓国国立国際教育院）

コロナ禍の状況下にあっても、オンラインで日韓学生交流プログラムを持続することができたことに意義があり、大変嬉しい。来年はオフラインで直接顔を合わせながら活動できるよう準備していきたい。

◆ 韓国側実施機関関係者（徳成女子大学校）

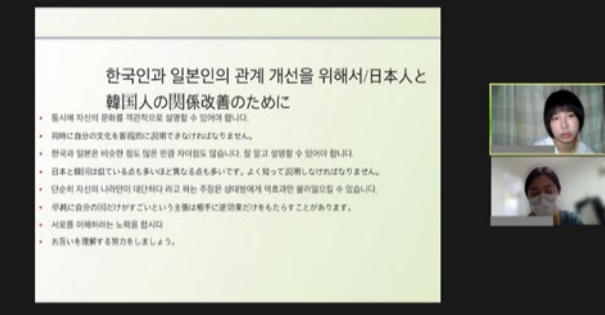
コロナ禍により新たなスタイルに取り組めたことが収穫でもあったが、むしろオフラインによる交流の必要性を強く感じた。厳しい状況下でも今回のように日韓両国で交流への努力を重ねていくことが、相互理解を深め、発展的な日韓関係につながる礎になるものと信じている。

6. 参加者の対外発信、報道記事等

 끝나고 나는 일본의 대학생들과 자유롭게 이야기를 나누는 경험이 처음이라 많이 기대도 되고 긴장도 됐는데 생각보다 편안하고 즐겁게 대화할 수 있어서 굉장히 즐거웠다. 다른 나라에 살고 있음에도 불구하고 비슷한 또래라 말도 잘 통하고, 일상과 관심사도 비슷해서 더욱욱 즐거운 시간을 보낼 수 있었다. 너무 즐거웠기 때문에 실제로 만나지 못하고 온라인 상에서만 대화를 나누는 게 더 아쉽게 느껴지기도 했다. 하지만 단체 메시징방, sns 등을 통해 지금도 이야기를 나누고 있기 때문에 소중한 인연들을 계속해서 이어가도록 할 것이고, 언젠가 양국을 오가는 것이 자유로워지면 꼭 만날 것을 약속했기에 그 때를 기다릴 것이다.  감사합니다!	어서 와, 2021 한일 대학생 온라인 교류 2021日韓大学生オンライン交流～みんなおいでよ 2021/7/3 4주차 / 第4週目 14:00～15:30 과제 발표 ① - 전반 7조 발표 (각 조 10분 이내) 前半7班発表(各班10分以内) 15:30～15:45 휴식 / 休憩 15:45～17:15 과제 발표 ② - 후반 7조 발표 (각 조 10분 이내) 後半7班発表(各班10分以内) 17:15～17:30 마무리 / まとめ  ♡ ○ ▽ 처음하는 대외활동. 하나도 어렵지 않았고 배워가는 게 너무 많았다. 일본인 친구들과의 비대면 대화는 세상을 넓혀주었고 많은 도움이 되었다. 웨비나를 통해 알게된 한·일의 지식과 정보는 꼭 기억해두고 잊지말자. "비슷하다고 하여 같다고 생각하지 않기" #한일교류 #2021한일대학생온라인교류 #NIIED #JKCF #日韓交流
2021 年 7 月 2 日 (Naver Blog) … (中略) 異なる国に住んでいるにもかかわらず、同世代同士、話が弾み、日常生活や関心事も似ていて、楽しい時間を過ごすことができた。実際に会えずとても残念だが、SNS等を通して連絡を取り合い、いつか日韓間の往来が可能になって再会できることを楽しみにしている。	2021 年 7 月 11 日 (Instagram) 初めての対外活動はスムーズに進み、学ぶことがとても多かった。日本人学生とのオンライン交流は視野を広げるのに役立った。講義を通して学んだ日韓の知識・情報についてはずっと忘れないようにしたい。「似ているからといって、同じだとは思わないこと。」
	・公共の場所でのマナー 🇰🇷🇯🇵 ・冠婚葬祭 🇰🇷🇯🇵 ・流行りの食べ物 🇰🇷🇯🇵 ・食事のマナー 🇰🇷🇯🇵 ・習い事 🇰🇷🇯🇵 のの違いについて発表しました。 今回のオンラインイベントでは、韓国の学生と韓国の生活や文化の違いについて話し合う中で、韓国についてたくさん学ぶことができました。また、講義を通して、互いを理解するためには、その違いを認め合うことが大切だと改めて感じました。このような貴重な機会をつくってくださった皆さま、本当にありがとうございました！！早く韓国に行ける日が来ますように🙏 이번에는 한국학생들과 문화 교환하고 한국을 더 알게 되었어요. 또 강의를 통해서 서로 차이를 이해하고 인정하는 것이 중요하고 다시한번 생각했어요. 정말 감사합니다!! 한국에 잘 놀이 빨리 왔으면 좋겠어요🙏 #日韓文化交流基金 #2021日韓大学生オンライン交流 #『みんなおいでよ!』 
2021 年 7 月 10 日 (Instagram) 最終日、今回のプログラムで討論した内容や感想についてチーム毎に発表を行った。他の学生との交流やオンライン視察、講義を通して、韓国や日本、そして日韓関係について多くを学び、思考を深める充実したプログラムだった。	2021 年 7 月 3 日 (LINE タイムライン) 今回のプログラムでは、韓国の学生との交流を通じて、韓国についてより深く学ぶことができた。また、講義を通じて、互いの違いを理解するためには、その違いを認め合うことが重要だと改めて感じた。

【第2回交流会】 「両国の生活の様子と文化の比較」 私たちは講義を通じて「言語行動の理解」と「都市空間」の2つを取り上げ、韓国と日本でどのような違いがあるかを考えました。 1つ目の「言語行動の理解」では、前代無差別に行っている会話がどんなものであるか実際に両国の学生に意見を求め、それぞれ出しました。初級や中級であっても母国の人に対して行うのが、それとも母国以外の友人に対して行うかを意識しながら行うことが分りました。自分たちの常識が相手にとってはそうではないこともあり、私たちはどちらか正しくて、どちらが間違っているという考え方を改める必要があると学んだ。また、円滑なコミュニケーションを図るには、柔軟な姿勢と広い視野を持ち、両国の違いを知ったうえで、互いを理解し認め合うことが大切である。一人一人が意識して行動するよう心がけていきたいです。 2つ目の「都市空間」では、韓国の建築物と日本の建築物の違いを写真や動画を通じて学習しました。両国ともそれぞれ伝統的な建築物が多数残っており、ソウルや東京の都市部については昔の建築物と現代の建築物が混在していることが分りました。魅力的な都市空間にするために、伝統的な建築物をリノベーションし、古い建築物と新しい建築物を融合させるという事例を知り、古いものを壊すのではなく、新しいものを取り入れることで伝統的な建築物を守っていく取り組みに興味を覚えました。こちらも学生同士による各国の魅力的な建築物について意見を交わしました。 #韓国教育 #2021韓国語学堂オンライン教育 #NIED #日韓交流 #2021日韓大学生オンライン交流 #KCF 	【JENESYS2021日韓大学生オンライン交流3】 2021/06/26 高麗神社オンライン視察と講義 オンライン視察では、埼玉県日高市にある高麗神社を視察した。7世紀に高句麗から渡来した、高麗王若光（このまのこきしやつこう）を主祭神として祀る神社らしい。 日本の各地の神社と共通した光景がありながらも、境内や高麗神社（高麗神社）には「チャンスン（高麗神社）」と呼ばれる魔除けの標があるように、高麗神社とその周辺地域が若光を祀る神社において、「日本と朝鮮半島の信仰文化が混ざり合い、継承されてきた場」であることを学んだ。 講義では、両国の祭上や「地獄心霊」の観点から日韓を比較し、日韓の相互理解の場に必要な事は何かを講義した。 相互理解の場には、「相手の事を知る」という点は両国の講義からも学んだ事だが、この講義では、互に相手の事を知るだけでなく、同時に自国の事を「客観的」な視点から知り、理解する必要があるという事を学んだ。 #2021日韓大学生オンライン交流 #JENESYS #2021日韓大学生オンライン交流 #韓国教育 #NIED 
2021年7月7日（Facebook） 自分たちの常識が相手にとってはそうでないこともあり、私たちはどちらが正しくて、どちらが間違っているという考え方を改める必要があると学んだ。また、円滑なコミュニケーションを図るには、柔軟な姿勢と広い視野を持ち、両国の違いを知ったうえで、互いを理解し認め合うことが大切である。一人一人が意識して行動するよう心がけていきたい。	2021年7月6日（Facebook） オンライン視察では、埼玉県日高市にある高麗神社を視察した。7世紀に高句麗から渡来した、高麗王若光を主祭神として祀る神社。日本各地の他の神社と共通した光景がありながらも、境内や高麗神社には「チャンスン」と呼ばれる魔除けの標があるなど、高麗神社とその周辺地域が、「日本と朝鮮半島の信仰文化が混ざり合い、継承されてきた場」であるということ学んだ。

7. オンラインプログラムの成果発表

	
プログラムのテーマである「両国の生活の様子及び文化の比較」、「日韓お互いどう見ているか」ならびに「コロナで変わった私たちの生活」について、講義やディスカッションを通じて学んだ成果を発表した。参加者たちからは、「日韓関係に対する理解度が一層高まった」「今回学んだことを心に留めながら今後も草の根交流を続けたい」「お互いの国を理解するためには、違いを認め合うことが大切だということを感じた」といった意見が出された。	

実施団体名：公益財団法人 日韓文化交流基金